（別紙２－２）

事業所名　グループホーム　ほんわかハウス

目標達成計画

作成日：　平成　22　年　8　月　19　日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	・終末期の過ごし方も含め、入居者お一人お一人の「思い」や「願い」に対して適切な支援が行えていない。 ・重度化された方や終末期を迎えられた方への環境整備と支援方法が確立されていない。	・利用者本位の支援方法について学ぶ。 ・ターミナルケアや重度化された方への支援方法を学ぶ。	・「利用者本位のケア」について勉強会の開催。 ・本人、ご家族が意見や要望を出しやすくするため、「要望シート」を作成し、ケアプランの更新ごとに行う。 ・「ターミナルケア」、「重度化」をテーマとした勉強会を開催し、職員の意識と技術の向上を図る。	１２ヶ月
2	37	事業所の防火・防災対策について、年２回の訓練を行っているもののまだまだ不十分である。職員の入れ替わりや一人になる夜勤時など不安材料は多く、ハード面も含めたさらなる改善が必要である。	・地域との連携を深める。 ・訓練の他に法人内での連絡協議会を開催する。	・地域運営推進会議を活用し、防火、防災活動について定期的に議題にあげる。また訓練開催の際には引き続き参加を要請し、職員においては常に意識を高く持ち技術の向上を図る。 ・法人内の防火管理者およびそれに順ずる責任者を中心に連絡協議会を開催し連携を図る。（年1～2回）	１２ヶ月
3					
4					
5					

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
介護サービス評価センターふくおか